



伊万里木材コンビナートを核とした地域活性化計画 中間評価委員会資料

事務局 伊万里市 建設農林水産部 農山漁村整備課

伊万里木材コンビナートを核とした地域活性化計画【佐賀県・伊万里市】

計画概要

○伊万里市東山代町は町域の約60%を森林が占め、充実した森林資源と伊万里木材コンビナートを有するなど林業が基幹産業の1つとなっている。

○多様な道路による地域間道路ネットワーク網を整備することで、利便性の向上を図り木材をはじめ林産物の輸送コストの低減及び緊急時の避難道路の確保など地域への安全安心を提供する。

○伐捨間伐から利用間伐や主伐への転換による林業振興を図るとともに、産業、観光、文化、交流など多様な地域づくりの促進を支援する。

地域再生の区域

佐賀県伊万里市の西部地域

計画期間

令和4年度～8年度

地域再生計画の目標

項目	現 状	目 標 (R8)
森林整備の促進	10 ha	42 ha
地域産材活用の促進	600 m³	2,520 m³
地域雇用の創出	312 人	348 人

※最終年度は事後評価を実施し、目標の達成状況を確認し公表

目標達成のために行う事業

<道整備交付金>

市道：0.50km、林道：6.00km

総事業費 1,500百万円

市道 50百万円（うち国費 25百万円）

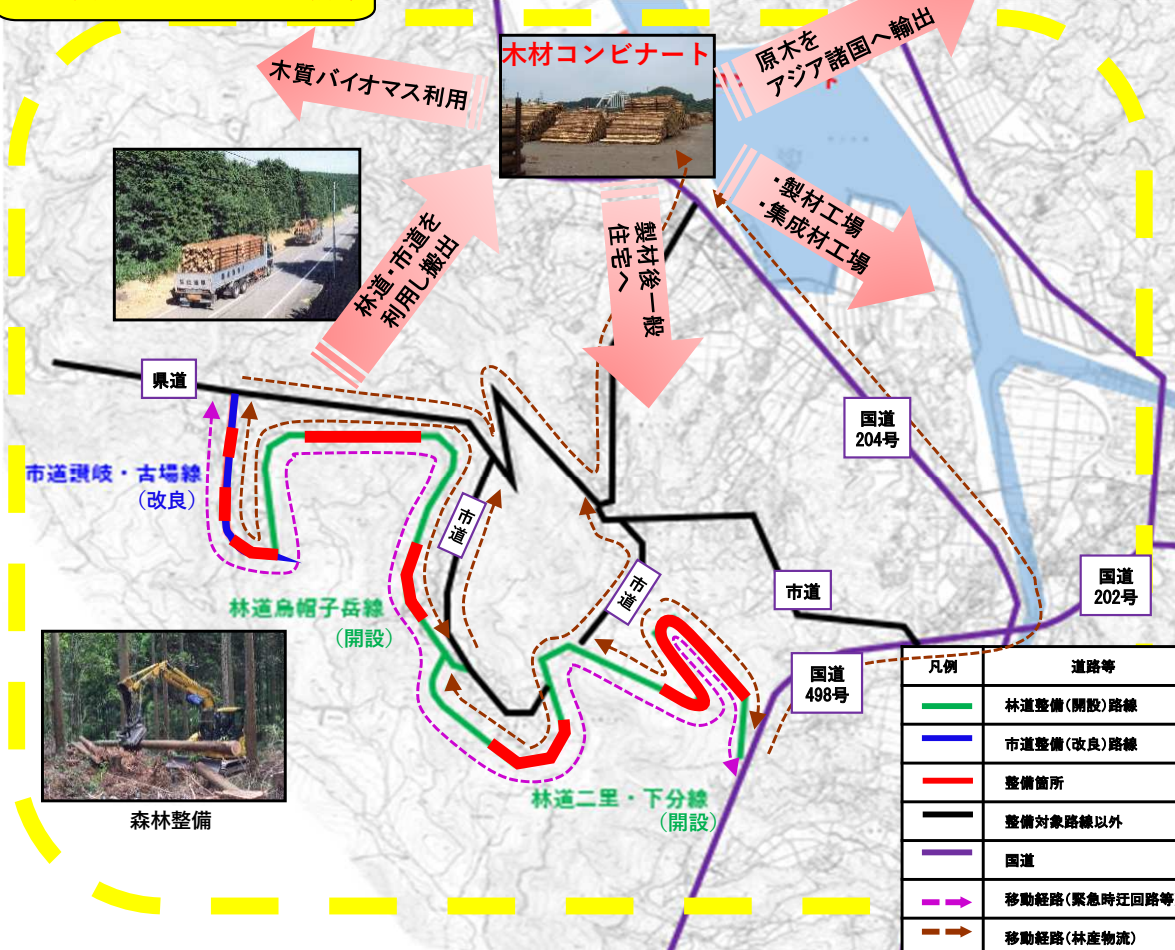
林道 1,450百万円（うち国費 652.5百万円）

<その他の事業>

森林環境保全整備事業、保安林改良事業、
伊万里産木材利用促進事業、橋梁長寿命化修繕事業

地域再生のイメージ

地域間ネットワークの構築



事業の評価

①林道整備事業について(交付金活用事業)

②市道整備事業について(交付金活用事業)

③その他事業の評価について

①林道整備事業について

【目的】

林道烏帽子岳線、林道二里・下分線が位置する東山代町滝野地域は、古くから農林業を主産業として発展してきた歴史ある地域であり、これら両路線の利用区域の森林面積は528haで、そのうちの約7割は、人工林、なかでも間伐や伐期を迎えた林分が半分を占めている。

しかしながら、急峻な地形や山間地が多い地理条件から路網が未整備のため、森林の整備が立ち遅れているのが現状である。森林施業や森林整備を促進する森林管理道としてだけでなく、災害時の避難路としても大きな役割が期待できることから林道整備を進める。

【計画】 ※R8目標値

林道整備延長 L=6,000m

○烏帽子岳線 L=2,000m

○二里・下分線 L=4,000m

【実績】 ※R6中間実績値

林道整備延長 L=3,637m

○烏帽子岳線 L=1,160m

○二里・下分線 L=2,477m

【評価】

今回の林道整備により、森林資源の搬出・作業を円滑にするための通行性の確保が出来たことから、森林施業が促進されたと考える。

二路線の早期開設に向けて、引き続き林道整備を進めていきたい。

②市道整備事業について

【目的】

市道讃岐・古場線は、地域集落と県道を結ぶ主要道であるが、幅員が狭幅であり、車両通行や集落生活に支障をきたしており、市内の道路網の構築とともに、生活に欠かすことのできない足元道路として早急な整備を進める。

【計画】

市道整備延長 L=500m

○讃岐・古場線改良工事 L=500m



着工前

【実績】

市道整備延長 L=216.6m

○讃岐・古場線改良工事 L=216.6m



成工後

【評価】

今回の市道整備により、交通の円滑化、利便性の向上、地域集落の生活環境の改善を図り、地域の安全安心に寄与することが出来たが、全ての路線を整備することが出来ていないことから、引き続き市道整備を進めていきたい。

③その他事業について

森林環境保全整備事業

経費の補助を実施することにより、実施主体の負担が軽減され、森林整備の促進、林業経営の安定化につなげることが出来た。

保安林改良事業

搬出間伐等の木材生産を推進したため、事業実施を見送った。

伊万里産木材利用促進事業

間伐材等の伐採木について搬出補助を行うことで、森林所有者の負担が軽減され、林業経営の安定化が図られ、森林整備の促進につなげることが出来た。

橋梁長寿命化修繕事業(橋梁管理事業)

老朽化した橋梁の長寿命化を行い、道路施設の安全確保につなげることが出来た。

指標の評価

目標1 森林整備の促進

目標2 地域産材活用の促進

目標3 地域雇用の創出

目標1 森林整備の促進

【目的】

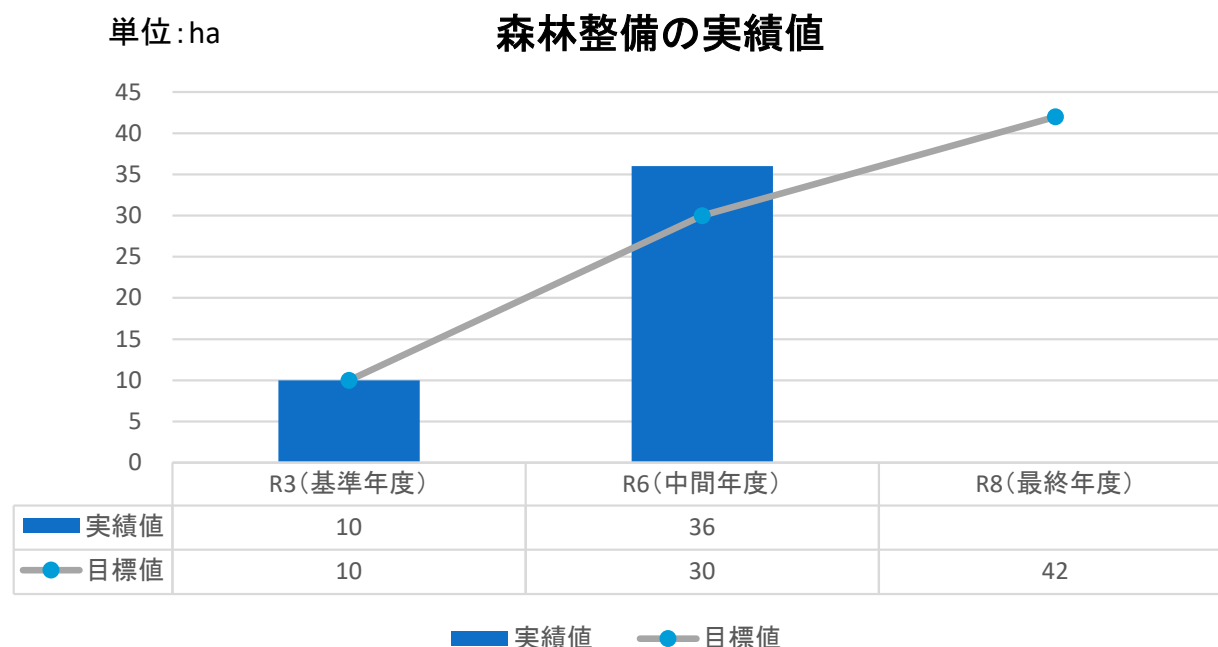
伊万里市の森林は、市域の約57%を占めており、自然環境の保全と産業の基盤を両立させる重要な資源であり、林業は地域経済の根幹の一つとして機能している。間伐や伐期を迎えた林分が大半を占める一方で、急峻な地形や山間地が多い地理条件から路網が未整備のため、森林の整備が立ち遅れているのが現状である。

このようなことから、林道整備を加速し、地域住民と事業者の協働により、持続可能な森林管理を通じて地域経済の再生と活力の創出を図る。

数値目標(間伐面積の増加)

10ha(R3基準年度) → 30ha(R6中間年度)【実績:36ha】 → 42ha(R8最終年度)

【実績】



【評価】

林道整備により森林へのアクセスが容易になったことから森林施業が促進され、中間目標値を達成することが出来た。

最終年度に向けて事業者と連携し、今後の更なる森林施業の実施を図りたい。

目標2 地域産材活用の促進

【目的】

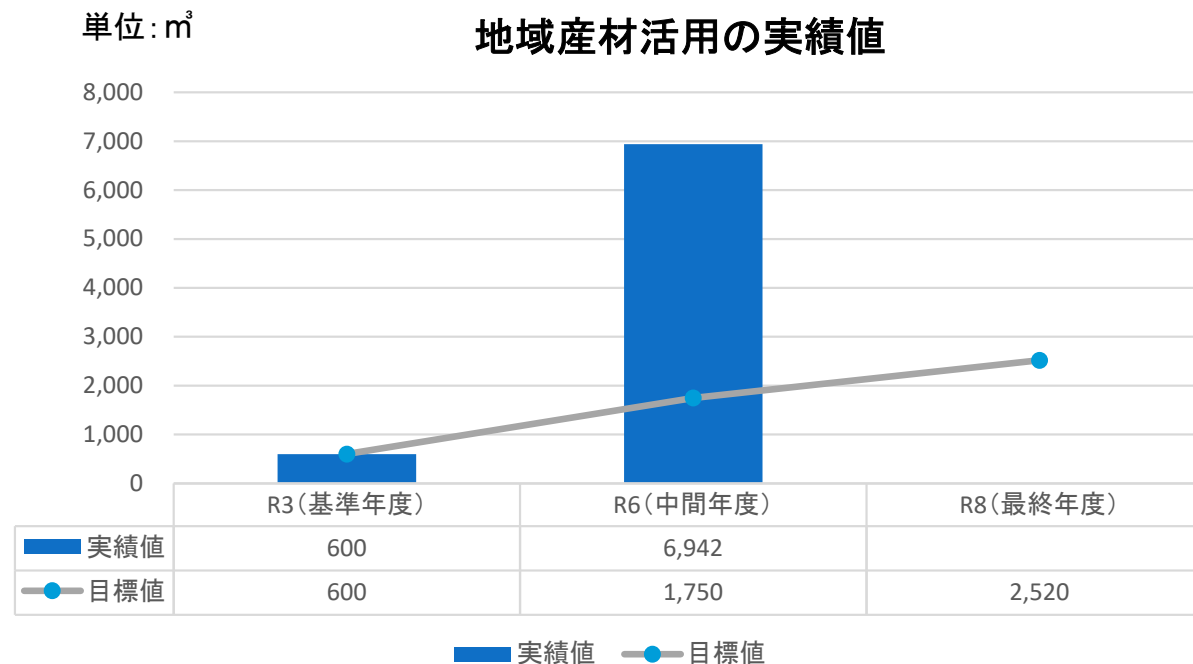
伊万里湾の臨海部には伊万里木材コンビナートが形成され、木材の加工や流通の拠点としての整備が進み、搬出・流通の効率化と地域産材の安定供給を促しており、安定した素材の生産が求められている。

このため、林業経営体との連携により、木材産業を振興し、森林所有者の利益還元につなげることで、森林施業への意欲が向上され、森林整備の促進・地域産業の活性化を図る。

数値目標(素材生産量の増加)

600m³(R3基準年度)→1,750m³(R6中間年度)【実績:6,942m³】→2,520m³(R8最終年度)

【実績】



【評価】

林道整備の効果により、森林施業が促進され、中間目標値を超過達成することが出来た。引き続き林道整備を進めて、森林施業、森林整備の促進を図りたい。

目標3 地域雇用の創出

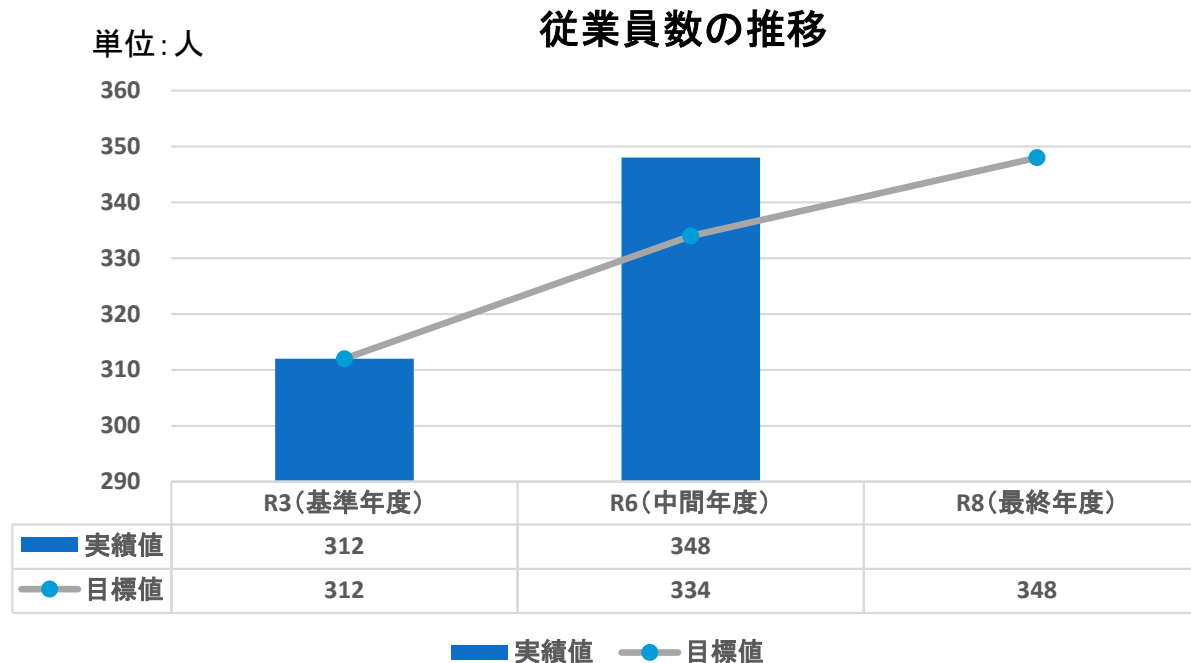
【目的】

森林整備面積、素材生産量が増加することで、林業経営体における作業量の増加や、取り扱い素材生産量が増加すると考えられることから、伊万里木材コンビナート関連企業等における新規雇用の創出を促すことで地域活性化を図る。

数値目標(伊万里木材コンビナート関連企業等の従業員数の増加)

312人(R3基準年度) → 334人(R6中間年度)【実績:348人】 → 348人(R8最終年度)

【実績】



【評価】

森林施業を促進する林道の整備により、伐期を迎えた林分の搬出作業や林業機械の運用が効率化し、現場作業の需要が増加した。その結果、林業関連の雇用機会が拡大し、地域企業の人員配置が進んだ。今後も一体整備を継続し、安定的な雇用と地域経済の持続的成長を目指したい。

総 括

【評価】

本計画は、林道と市道を一体整備することで森林施業の促進と防災基盤の強化、地域産業の活性化を図る点で価値が高く、長期的な地域再生に寄与する潜在力を有していると考えられる。

中間年度の実績は目標1(森林整備)、目標2(素材生産)、目標3(地域雇用)全てにおいて一定程度の進捗が見られ、目標値を達成することが出来た。これは、林道整備による森林へのアクセスが容易になったことや、森林環境保全整備事業および伊万里産木材利用促進事業の効果による森林整備関係者への負担軽減が図られたことが森林整備の促進につながり、森林施業が加速されたものと評価している。

特に、目標2(素材生産)については基準値から大幅に増加させることが出来たことから、林道整備事業や伊万里産木材利用促進事業の効果性が非常にあったものと考えており、最終年度に向けて、継続して事業を進めていきたい。

【今後の方針】

森林施業の促進と素材生産の安定化を目指し、林道烏帽子岳線と林道二里・下分線の早期整備を優先するとともに、市道整備も展開し、長寿命化と防災機能を兼ね備えた道路網の整備を進めていく。

加えて、伊万里木材コンビナート関連企業間の市場連携を強化し、伐採材の搬出を支援して地域産業を活性化することにより、地域雇用の創出を持続させ、林業担い手の確保及び育成を図っていく。

引き続き地方創生道整備推進交付金を活用し、林道整備および市道整備を一体的に実施し、地域活性化の基盤となる道づくりを推進していく。